

台東区区有施設地球温暖化対策推進実行計画の進捗状況について(令和3年度実績)

台東区地球温暖化対策推進実行計画<第5次計画>の取組の進捗状況をお知らせします。

第5次計画は、令和2年度から開始し、令和6年度までに平成25年度比26%以上削減という目標について、台東環境マネジメントシステム(T-EMS)運用による環境配慮行動の推進を管理し、指定管理施設を含む区施設から排出する温室効果ガスの削減・抑制を目指しています。

削減目標は、**令和6年度までに平成25年度比26%削減(目標排出量 18,079t)**となります。

令和3年度において、指定管理施設を含む区施設からの温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)は**17,077t**となり、基準である平成25年度と比較して30.5%の削減ができました。継続して行っている夏季・冬季の節電の取組み、改修工事に伴う空調・照明など省エネ設備の導入効果、コロナウィルス感染拡大による施設の休館・事業縮小の影響があったものと考えられます。

なお、区有施設から排出する温室効果ガスは電気の使用による要因が約70.8%、ガスの使用が約27.9%で、全体の約98.7%を占めています。このため、今後も日常業務や施設運営において、電気・ガスを中心としたエネルギー使用抑制の取り組みを着実に推進していきます。

区有施設(含指定管理施設)における二酸化炭素排出量の経年変化 <単位t>

	H25年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	前年度比増減	令和3年度 基準年度比増減
区有施設 (含指定管理)	24,556	19,948	18,397	17,077				△7.2%	△30.5%